

平成 20 年 9 月 1 日

お取引先各位

最新情報

HOT！な情報報告

ガイナ完成の秘密

9月1日、朝日新聞の夕刊にガイナ関連の記事が掲載されました。

紙面には弊社のガイナが「断熱塗料」として完成に至った歴史が掲載されております。

凝縮された内容になっておりますので是非、ご覧下さい。

紙面の著作権は新聞社に帰属しておりますので、紙面の取扱いにはご注意ください。
(ホームページや広告には掲載しないで下さい。)

皆様の拡販にご活用ください。

株式会社日進産業

ロケットの技 家に生かす

日本の宇宙技術を生かした商品にロゴマークを与える「宇宙ブランド」制度を宇宙航空研究開発機構(JAXA、東京都調布市)が今年から始め、第1号にロケットの塗料技術を応用した「塗る断熱材」が選ばれた。開発したのは東京都板橋区の日進産業。社員27人の中小企業だ。

社長の石子達次郎さん(54)は島根県出身。大学時代にアルバイト仲間と3人でカギ修理の会社をつくり、工場の倉庫や製造ラインをつくるメーカーに育った。

転機は20年前、1本のクレーム電話だった。

滋賀県内で空調機工場の建物と製造ラインをつくったところ、「夏になると建物内の気温がすぐ上がってしまう」と文句がいった。しかし、建物の壁と製造ラインには、5センチほどしかすき間がなかった。厚みが数センチあるガラス繊維製の断熱材を壁の内側に張り付けたかったが、幅が狭くて入れることができない。そこで、試しにグレーだった建物をペンキで真っ白に塗ると、真夏の室温が3度近く下がった。

この体験をヒントに、石子さんは断熱効果の高い塗料の研究を独

工
西
手
様
(
昭
和
の
グ
リ
を
統
一
す
る
を
目
的
と
し
て
1
9
7
0
年
に
創
設
し
た
。
今
日
は
2
0
0
8
年
の
7
月
の
前
編
は
キ
ー
ワ
ー
ド
を
わ
か
り
や
す
く
解
説
し
ま
し
た
。)

7月の前編はキーワードをわかりやすく解説しました。「会社で」「地域で」

ば幸いです。(環境ディレクター・長谷川智)



「ガイナ」を手にする石子達次郎さん(東京) 東京都板橋区の日進産業

薄くても効く「塗る断熱材」

学で始め、実験を繰り返した。その結果、直径20センチメートル(1センチメートルは1千分の1センチ)ほどのセラミックのビーズを混ぜると、普通のペンキより断熱性が高まる。普通のことばかり、90年代半ばに商品化した。

「もっと断熱効果を高くしたい」。そう思っていた4年前、国産大型ロケットH2の先端にある「フェアリング」という部分に高性能の断熱塗料が使われていることを知った。さっそく宇宙機構に連絡し、民間向けの技術公開の手続きをとった。

H2の後継のH2Aは、塗料に素材の異なる複数種のビーズを混ぜて断熱効果を高めている。石子さんはこれを応用。直径10

50センチメートルの種類の異なる3タイプのセラミック製ビーズを混ぜ込んだ新塗料を開発。同社の従来品に比べ、塗装の厚みを3割減らしても同じ断熱効果が得られた。

06年に「ガイナ」という商品名で発売。全国5千軒を超す住宅などに使われている。外壁や屋根に塗ると太陽の熱を遮って夏涼しく、内壁や天井に使うと熱が逃げのを防いで冬暖かくなる。

宇宙ブランド制度は、宇宙機構が宇宙研究の重要性を一般市民にアピールする狙いで創設した。石子さんは「いままでは、断熱塗料の商品説明をしても、なかなか効果を感じてもらえなかった。この20年、研究を続けてきてよかった」と話した。(山本智之)

街 メガロポリス Megalopolis

れ、起訴猶予処分となった同市立皮草店小の宮川聖子交差

■映画祭で「ポニョ」喝采

イタリアで開催中のベネチア国際映画祭で31日(日本時間1日)、宮崎駿監督が劇場に登場し、「崖(がけ)の上のポニョ」が公式上映された。同作は金獅子賞を競うコンペティション部門に参加している。

上映後、総立ちの観客は5分間、盛大な拍手を送り続け、宮崎監督は両手を上げて応えた。(ベネチア=宮崎陽介)

■「ロードショー」休刊へ

集英社は1日、映画誌「ロードショー」を11月21日発売の1月号で休刊すると発表した。同誌は72年創刊。「スクリーン」誌(近代映画社)とともに、スターのグラビアを中心に洋画ファンに人気が高かったが、インターネットの情報に押され、80年代、最高で約35万部だった部数が約5万部まで落ち込んでいた。

■東京コレクション開幕

09年春夏ファッションを発表する東京コレクション・ウィークが1日、東京・六本木の東京ミッドタウンなどを主会場に始まった。「第7回東

梨県側からの登山者が、最多の24万7066人に達した。世界遺産登録に向けたPRなどが理由とみられるが、軽装での無理な登山者などマナー問題は相変わらずだった。

一方で山梨県警によると、期間内で登山中に急性心不全などで4人が死亡。死者は05年(1人)以来。

■寄贈の校舎で始業式

【綿陽(中国四川省)】小林哲(四川大地震の被災地で1日、新学期が始まった。綿陽市の中心部にある警鐘街小(児童1400人)では、財団法人・日本生産教育協会などをつくる「四川大地震教室復興支援の会」が寄付したプレハブ校舎で始業式があり、新しい教室に子どもたちの笑顔が戻ってきた。

■パラリンピック入村式

【北京】由利英明(6日)に開幕する北京パラリンピックの日本選手団が1日、選手村で入村式を行った。選手と役員93人が健闘を誓った。

京発日本ファッション・ウィーク(JFW)の一環。オープニングを飾ったのは「ミントデザインズ」。会場にはビニール傘が並べられ、ポツポツな雨の日ファッションも登場した。写真、中田徹撮影。